

令和3年度 研究体制とミッション

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センターの令和3(2021)年度研究体制をご紹介します。

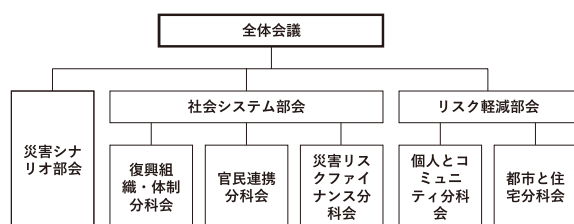
研究調査部では防災・減災のまちづくりや共生社会づくりに資するとともに、21世紀文明の在り方について研究し、国内外の政策形成につなげる情報を発信すべく、研究調査活動を展開しています。

本年度は平成30(2018)年度から研究を続けている「南海トラフ地震に備える政策研究」「広域経済圏活性化による経済成長戦略」などの成果を取りまとめ、政策の具体的な検討・提言を行う予定です。

南海トラフ地震に備える政策研究

今後30年以内に70～80%の確率で発生するといわれている南海トラフ地震に備えるために、具体的な事前対策や復興政策の在り方を提言します。そのために、「被災社会」とそれを支える「国と社会」の双方の観点から、6つの研究会に分かれ、震災後の復興組織・体制や、そこでの民間との連携、復興財源確保、個々人の生活再建、コミュニティや住宅の再建の在り方など多分野にわたって体系的に研究します。

南海トラフ地震に備える政策研究 組織図



・全体の方向性を検討する「全体会議」と、その下に3部門、6テーマの研究会を設置。
・普段は各研究会で研究を進めつつ、定期的に全体会議で各研究会のリーダーが報告を行い、進め方について検討。

広域経済圏活性化による経済成長戦略

阪神・淡路大震災以降低迷が続く兵庫県経済の復活を目指し、地域と国全体の経済に活性化をもたらす新たな政策モデルを提案します。京阪神地域の広域経済圏の在り方を中心に、企業誘致や立地促進、産業育成といった地域経済の活性化政策を検討するだけでなく、産学官が連携した新たなアクションプランを策定・提案することを目指しています。

ソサエティ5.0(AI・ロボット社会)に向けた制度設計

これまで、出生率の低迷と支援策、高齢者の貯蓄と就業の状況、高齢者の健康の状況、育児や介護などの制約を抱える者の就労環境を整える取り組み等を分析し、深刻化する少子高齢化に直面する日本やアジア諸国における新たな制度設計を検討してきました。その解決の方向性として、AI・ロボット・IoTなどの活用による人間中心の社会の実現を目指すソサエティ5.0に向けた政策課題や兵庫県の長期ビジョンの諸課題解決に資する調査分析を行っています。

研究員



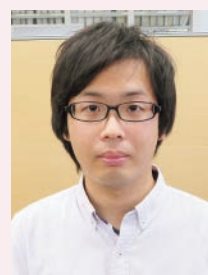
主任研究員
吐合 大祐



主任研究員
朴 延



主任研究員
石塚 裕子



研究員
平石 知久

情報ひろば

研究戦略センター

「ひょうご講座2021」開催のご案内

21世紀文明を切り拓く高度な研究成果や専門的知識を得たいという県民の学習ニーズに応えるため、「ひょうご震災記念21世紀研究機構」のネットワークを活用し、大学教養レベルの連続講座による高度な学習機会を提供します。

■一般コース

「ひょうご震災記念21世紀研究機構」のあるHAT神戸の防災や国際関係諸機関の集積と、当機構のこれまでの研究成果を踏まえ、下記3分野で実施します。

○開講分野

分 野 名	開講時期	回数
防災・復興：地域における災害対応力を高める	9月6日(月)～11月22日(月)	10回
地域創生：ポストコロナ社会を考える	9月8日(水)～12月1日(水)	10回
国際理解：ポストコロナ時代の国際情勢の行方	9月10日(金)～12月3日(金)	10回

- 開講時間＝平日の午後6時30分～8時
- 受講料＝15,000円(1分野)
- 定員＝40人(1分野)(先着順です、お申し込みはお早めに！)
- 開講場所＝兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3)

※各分野の開講日等詳細については、「ひょうご講座」ホームページでご確認ください。(http://www.hyogo-al.jp/kouza/)

※講師は、それぞれの分野で活躍されている大学教授を中心に、マスコミによく出演されている方、地域の実践アドバイザーの講義もあります。ぜひホームページをご覧ください。



＜内容の紹介＞

『防災・復興：地域における災害対応力を高める』

阪神・淡路大震災以降、日本列島は地震活動性期に入ったといわれており、南海トラフ地震や首都直下型地震の発生が懸念されています。また地球規模の気象変動がもたらす自然災害の頻発化、激甚化が懸念されています。さらには新型コロナウイルス感染症による複合災害などにも備える必要があります。

こうしたなか、私たちの命と暮らしを守るために、災害による被害の軽減に向けて何をなすべきか様々な視点から考えます。

『地域創生：ポストコロナ社会を考える』

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、デジタル化などの潮流を加速させるとともに、人々の暮らしや働き方、まちづくりなどにも変革をもたらそうとしています。

こうした価値観の変化や新たな技術の社会実装は、私たちに何をもちこたすのか、持続可能な新たな社会の構築に向けて様々な角度から考えます。

『国際理解：ポストコロナ時代の国際情勢の行方』

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、世界の政治、経済、社会、安全保障などに大きな変化をもたらす可能性があります。バイデン政権下においても、米中対立が続くなか、東アジア情勢も厳しさを増しています。

こうした国際情勢の現状を見据え、今後の見通しや未来像について考えます。

■リカレントコース

AIやICTが急速に進化し社会が大きく変化するなか、現役社会人の専門的な学び直しの機会、キャリアアップや起業・転職に向けたセカンドキャリア構築の一助として、新たな時代に対応できるようデータ処理等の入門講座を開設します。

○開講分野

コ ー ス 名	開講時期	回数
経営戦略：企業の経営戦略を学び、マネジメントスキルを身につける	9月16日(木)～10月28日(木)	5回
データサイエンス：ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく	9月7日(火)～12月7日(火)	10回
AI活用実習：AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ	11月4日(木)～12月2日(木)	5回

- 開講時間＝平日の午後6時30分～8時
- 受講料＝5回講座は7,500円、10回講座は15,000円
- 定員＝20人(1分野)(先着順です、お申し込みはお早めに！)
- 開講場所＝兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3)

※各分野の開講日等詳細については、「ひょうご講座」ホームページでご確認ください。(http://www.hyogo-al.jp/kouza/)

《内容の紹介》

『経営戦略：企業の経営戦略を学び、マネジメントスキルを身につける』

新型コロナウイルスの影響のなか、企業を取り巻く経営環境は大きく変化しており、ビジネスに求められる能力も高度化しています。

こうした状況に的確に対応できるよう、経営戦略、マーケティング、財務会計、人的管理(人の活かし方)について学ぶことで、マネジメントスキルを身につけ、キャリアアップを目指してみませんか。大学教員や実務経験のある方が講師で、事例も交えてわかりやすく説明します。

※現役の税理士や中小企業診断士、元行政マンなど、具体的事例をよくご存じの先生方によるリレー講義です。

『データサイエンス：ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく』

情報科学技術のめざましい進歩は、社会のあらゆる領域に多大な影響を与えています。とりわけ、ビッグデータ、人工知能(AI)などの活用が注目されています。

新型コロナウイルス感染症により、こうした動きがさらに加速することが想定されるなか、これらの技術はどのようなものなのか、どのように展開されていくのか、関係諸分野を含めて学びます。

※兵庫県立大学大学院・情報科学研究科の若手の先生方によるリレー講義です。具体的な事例も交え、ビッグデータや人工知能(AI)に関する最新の学びを体験出来ます。

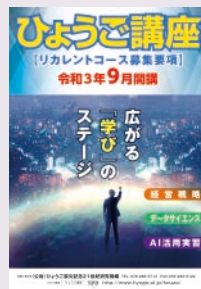
『AI活用実習：AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ』

ビッグデータの普及を背景に、AIは急速に進化し、次世代産業などを担う原動力として注目を集めています。

こうしたなか、AI活用で多用されるプログラミング言語Pythonによる機械学習プログラミングに取り組みます。PCを使った実習を通して、実際に手を動かして機械学習プログラムを体験することで、その基礎技術に対する理解を深め、今後の応用につながる実践的な知識や技能を身につけます。

※兵庫県立大学大学院・工学研究科の森本准教授から、AI開発で主に使われるプログラミング言語Pythonについて基礎から分かりやすく学びます。プログラミングの経験はあるもののPythonには触れたことのない人への入門講座です。

※実習は、できればある程度の基礎的素養がある方が向いています。



応募方法

- 募集締切=8月31日(火)必着をお願いします。(一般コース、リカレントコースともに)

※「AI活用実習」については、10月26日(火)必着です。

※インターネット、FAX、郵送で受け付けます。

※いずれも、先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、事業内容を変更したり、取り止めたりする可能性があります。あらかじめご了承ください。

【申し込み・問い合わせ】

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 交流推進課 ひょうご講座担当

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6階

TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122

<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>

兵庫自治学会オンラインセミナー開催のご案内

兵庫自治学会の令和3(2021)年度の年間研究テーマは「ポストコロナの新時代～持続可能な地域づくりに向けて～」です。新型コロナウイルス感染症の流行が、今後の社会の在り方にさまざまな課題を提起する中、高木超・慶應義塾大学大学院政策メディア研究科特任助教を講師にオンラインセミナー「SDGs×自治体!?～自治体におけるSDGsの活用について」を開催します。

- 日 時=9月10日(金)16時～17時30分
- 方 法=Zoomウェビナーによるオンライン会議方式
- 受講料=無料
- 定 員=95人(先着順)
- 申し込み方法=兵庫自治学会ホームページから(自治学会会員に限らず、どなたでも申し込みできます)



兵庫自治学会は会員を募集しています

兵庫県職員、県内市町職員、県内在住または在勤の学識者・NPO職員、その他本会の目的に賛同される個人の方ならどなたでも入会いただけます。年会費2,000円。(兵庫自治学会ホームページから申し込みます)

【申し込み・問い合わせ】

兵庫自治学会事務局

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター内

TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122 <http://hpsa.net/>

兵庫県こころのケアセンター

令和3年度第1期 こころのケア研修の受講者募集

こころのケアに携わる保健・医療・福祉・教育等の分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法等について学ぶ研修を実施しています。

9月から11月にかけて実施する研修の受講者を募集しています。

● 研修概要

区分	コース名	期 間	定員	対 象	受講料	申込締切日
専門 研修	DV被害者のこころのケア 【Web開催】	9月21日(火)	35人	母子自立支援員、女性相談員(婦人相談員)、婦人保護施設職員、母子生活支援施設職員、家庭問題相談員、保健師、福祉事務所職員、こども家庭センター(児童相談所)職員等DV被害者相談支援関係職員	2,500円	8月6日(金)
	消防職員のための惨事 ストレスの理解と予防	9月29日(水) 30日(木) (2日間)	35人	消防職員	3,600円	8月14日(土)
	犯罪被害とこころのケア 【Web開催へ変更または 中止する場合あり】	10月21日(木) 22日(金) (2日間)	25人	保健・医療・福祉・教育・司法・警察 ・消防関係等職員	4,100円	9月7日(火)
	消防職員のための惨事 ストレスの理解と予防 (ステップアップ)	11月10日(水) 11日(木) (2日間)	25人	消防職員【消防職員のための惨事 ストレスの理解と予防研修を受講済 みの者】	4,100円	9月25日(土)
基礎 研修	関わりの中のトラウマイン フォームド・ケア 【Web開催】	10月14日(木)	35人	教育・福祉・保健・医療関係等の対 人支援業務従事者	2,500円	8月31日(火)

● 場 所 等＝兵庫県こころのケアセンター または Web(Zoomで実施)

● 申し込み方法＝受講申込書(※)に必要事項を記入の上、郵送、Eメールで下記申し込み先へお送りください。申込者多数の場合は、各申込締切日を期限として、初めての受講の方を優先の上、抽選で受講者を決定します。

※当センターホームページからダウンロードできます

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、当センターでの開催をWeb開催へ変更または中止する場合があります。その際はホームページでご案内します。

[申し込み・問い合わせ]

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター 研修情報課
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2(阪神「春日野道」駅から南へ徒歩約8分)
TEL 078-200-3010 FAX 078-200-3017
Eメール kensyu@j-hits.org
<https://www.j-hits.org/>

写真集・詩集・自費出版の
お問い合わせは

思いに色を、カタチを与える

神戸新聞総合印刷
神戸新聞総合出版センター

<https://www.kobenp-printing.co.jp/>

HAT神戸 掲示板

兵庫県立美術館

特別展

「アイノとアルヴァ 二人のアアルト フィンランドー建築・デザインの神話」

モダニズムの建築家として世界的に活躍したアルヴァ・アアルト(1898-1976)には、25年間にわたりデザインパートナーとして対等な関係にあった妻アイノ・アアルト(1894-1949)がいました。現在、アルヴァの業績とされている多くの作品には、アイノの思想が多分に生かされていたことが明らかになっています。二人は、「日常の暮らしにこそデザインが必要である」という思想から、フィンランドの環境特性に基づき、自然のモチーフを取り入れたデザインで建築設計のほか、家具、ガラスウェアのデザインなど現在も愛される名品を数多く残しました。本展では、このように互いに影響しあい、補完しあいがら制作を行ったアアルト夫妻の業績を、二人の出会いからモダニズムの潮流を受けて機能主義へと至り、更に国際舞台での活躍に続く過程をご紹介します。

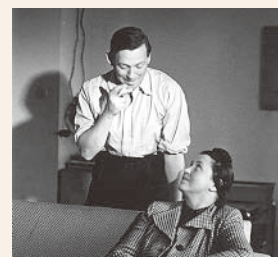
展覧会は、アアルト・ファミリーコレクションとアルヴァ・アアルト財団の全面的な協力を受け、貴重なデッサンや図面のみならず、公私ともにパートナーであった二人の軌跡を記録する写真なども展示します。

■会 期＝7月10日(土)～8月29日(日) ※予約優先制
※最新情報は兵庫県立美術館のホームページでご確認ください
■観覧料＝一般1,600円、大学生1,200円、70歳以上800円、高校生以下無料

◎休館日＝月曜日(ただし、8月9日(月・振休)は開館、翌10日(火)は休館)
◎開館時間＝10時～18時(金・土曜日は20時まで)
※入場は閉館の30分前まで
◎問い合わせ
TEL 078-262-1011
<https://www.artm.pref.hyogo.jp/>



アイノ・アアルト ポルゲブリック・シリーズ
1932年(design) Alvar Aalto Foundation



アイノ・アアルトとアルヴァ・アアルト
1937年 Aalto Family Collection
Photo: Eino Mäkinen

JICA関西

◆食べることから始める国際協力！

JICA関西食堂の月替わりエスニック料理

JICA関西1階の食堂(カフェテリア方式)は、どなたでもご利用できます。完全禁煙で、安心して料理を楽しめ、子供椅子もご用意していますので、お子様連れも歓迎です。月替わりエスニック料理もご好評いただいております！8月はナミビアの料理をご提供予定です。



写真は7月のパキスタン料理

月替わりエスニック料理の詳細と写真はこちら→

JICA関西食堂

<https://www.jica.go.jp/kansai/office/restaurant/index.html>



■営業時間＝(昼)11時半から14時まで(夜)17時半から20時まで
※各終了30分前ラストオーダー

コロナの状況を踏まえて営業時間に変更になる可能性がございます。詳しい営業時間についてはJICA関西ホームページをご確認ください。

■定 休 日＝年中無休(年末年始を除く。)

◎問い合わせ

JICA関西(独立行政法人国際協力機構関西センター)総務課

TEL 078-261-0341 FAX 078-261-0342

Eメール jicaksic-event@jica.go.jp

その他、詳細はJICA関西ホームページをチェック！

→ <https://www.jica.go.jp/kansai/>

日本赤十字社 兵庫県支部

オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

感染リスクを心配せず安心して自宅等から参加いただけるように、オンラインでもZoomを使った講習会を開催しています。命と健康を守る知識と技術を身に付けるため、ぜひ参加してください。詳しくは、日本赤十字社兵庫県支部ホームページ(<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/online/>)をご覧ください。

講習内容	開催日	時間
「あなたは大切な人を救えますか？」 【救急法】一次救命処置	8月7日(土)	10:30～11:30
「みんなで学ぼう応急手当」 【救急法】きずの手当	8月7日(土)	14:00～15:00
「こどもにAEDって使えるの？」 【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	8月24日(火)	10:30～11:30
「あなたは大切な人を救えますか？」 【救急法】一次救命処置	8月24日(火)	14:00～15:00

※オンライン講習の受講料は無料です



▲幼児安全法「乳幼児の一次救命処置」

いのちと健康を守る赤十字活動にご支援ください。

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/donate/> →



◎問い合わせ

☎ 0120-078-456

赤十字 兵庫 検索

 日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

震災資料のメッセージ 「阪神淡路大震災1.17のつどい～人々の希望を照らす灯火～」

「震災資料のメッセージ」は、人と防災未来センターに寄贈された一次資料（震災当時に被災したり、使用された現物）を、年度ごとのテーマに沿って紹介するスポット展示です。本年度は「阪神淡路大震災1.17のつどい～人々の希望を照らす灯火～」をテーマに震災資料を紹介しています。

「阪神淡路大震災1.17のつどい」は、阪神・淡路大震災でお亡くなりになった方を追悼するとともに、震災で培われた経験や「きずな・支えあう心」「やさしさ・思いやり」の大切さを次世代へ語り継いでいくため、毎年1月17日に神戸市中央区の東遊園地で竹灯籠にろうそくを灯して行われる追悼行事です。今年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう厳しい状況で、感染対策をとった上で開催されました。

コロナ禍でも実施された「阪神淡路大震災1.17のつどい」への思い。その思いを伝える紙灯籠や過去に使用された竹灯籠を展示しています。ぜひご覧ください。

- 期 間：令和3(2021)年6月29日(火)～11月28日(日)
- 展示場所：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター西館3階(有料ゾーン)
「震災の記憶を残すコーナー」

●展示内容(展示資料)

①竹灯籠

今回の展示は、過去に「阪神淡路大震災1.17のつどい」で使用された竹灯籠です。この竹灯籠は、阪神・淡路大震災で犠牲になった方々への鎮魂や追悼の思いが込められ、全国の約50団体が竹を切り出して加工し、提供されたものです。



②紙灯籠

竹灯籠とともに、今年の「阪神淡路大震災1.17のつどい」で使用された紙灯籠を展示します。紙灯籠は、平成26(2014)年に広島県で発生した土砂災害の被災地で活用されていました。この紙灯籠は、A4用紙にイラストやメッセージを記入するもので作成しやすく、また、募集することによって会場に来られない多くの人々の思いを届けることが可能となることから、「阪神淡路大震災1.17のつどい」でも取り入れられることになりました。



展示は、人と防災未来センターで行われていますが、資料に関するお問い合わせは、資料室へお願いします。(西館5階)

TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062

※資料室はどなたでも無料でご利用いただけますが、現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、滞在時間の短縮や窓口での調査相談(レファレンス)対応の制限などの対策を実施しております。詳しくは、ホームページをご確認ください。
(<https://www.dri.ne.jp/information/6382/>)

「令和2年度ぼうさい甲子園受賞校活動紹介展」を開催

人と防災未来センターでは、令和3(2021)年6月1日(火)から7月18日(日)まで、西館1階ロビーで企画展「令和2年度ぼうさい甲子園受賞校活動紹介展」を開催しました。

「ぼうさい甲子園」は、未来に向け安全で安心な社会をつくるため、次世代を担う子どもたちや学生が学校や地域で行っている防災教育や防災活動の取り組みを顕彰する事業です。例年1月に受賞校・団体への表彰式・発表会を開催していますが、昨年度はコロナ禍により中止となったため、受賞校の児童・生徒が作成した活動内容を紹介する作品を展示することとなりました。防災訓練や避難所運営方法の新たな発案や、防災・減災を学ぶための音楽やダンスの創作など、さまざまな取り組みを紹介しました。



〈展示紹介した団体名・賞名〉

団体名	賞名
印南町立印南中学校	ぼうさい大賞
西尾市立白浜小学校	優秀賞
大阪府立堺工科高校定時制の課程	優秀賞
千葉県立長生特別支援学校	優秀賞
兵庫県立尼崎小田高等学校看護医療・健康類型	奨励賞
龍谷大学政策学部 石原凌河研究室	奨励賞
徳島県立池田高等学校定時制課程	URレジリエンス賞
岡山大学教育学部 酒向研究室	URレジリエンス賞
足立区立西新井小学校	はばタン賞
宮城県立気仙沼向洋高等学校	はばタン賞
神戸国際大学防災救命クラブ(DPLS)	だいじょうぶ賞
西宮市立学文中学校	フロンティア賞
成田ジュニア・ストリングオーケストラ	フロンティア賞
阿南市立橘小学校	しなやかwithコロナ賞
青森市立東中学校	しなやかwithコロナ賞
那覇市立那覇中学校	しなやかwithコロナ賞
仙台育英学園高等学校せんだいまなびや	しなやかwithコロナ賞
徳島県立阿南支援学校	しなやかwithコロナ賞

※各団体の取り組み内容や上記以外の受賞団体については、「ぼうさい甲子園ホームページ(<http://npo-sakura.net/bousai-koushien/>)」でご覧いただくことができます。

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

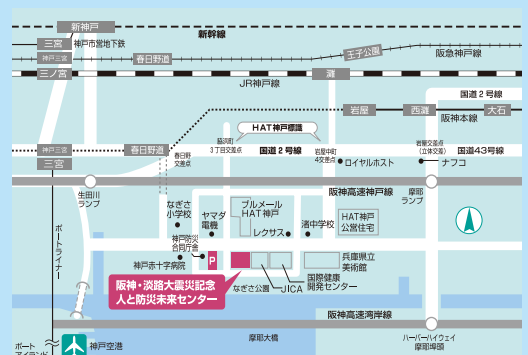
観覧案内・予約 / TEL 078-262-5050 <https://www.dri.ne.jp/>

- 開館時間** 9時30分～17時30分(入館は16時30分まで)
※7月～9月は9時30分～18時(入館は17時まで)
※金曜、土曜は9時30分～19時(入館は18時まで)
- 入館料金** 大人: 600円(450円) 大学生: 450円(350円)
東館のみ観覧の場合
大人: 300円(200円) 大学生: 200円(150円)
高校生、中学生・小学生: 無料
※()内は20名以上の団体料金
※障がい者、70歳以上の高齢者割引有
※毎月17日は、入館無料
(17日が休館日の場合は、翌18日となります)

休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)、12月31日と1月1日
※ゴールデンウィーク期間中(4月29日から5月5日まで)は無休
※資料室の開室日についてはホームページでご確認ください

交通

- 鉄道**
- ・阪神電鉄「岩屋」駅、「春日野道」駅から徒歩約10分
 - ・JR「灘」駅南口から徒歩12分
 - ・阪急電鉄「王子公園」駅西口から徒歩約20分
- バス**
- ・三宮駅から約15分
 - ・阪神高速道路神戸線「生田川」ランプから約8分
 - ・阪神高速道路神戸線「摩耶」ランプから約4分
 - ・阪急・阪神・JR「三宮」駅から約10分
- 有料駐車場あり ●バス待機所(予約制/無料)あり



〔令和3年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」〕

平成7(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向けて継承していくため、学校や地域で防災教育や防災活動に取り組んでいる子どもたちや学生を顕彰する事業です。毎年1月に受賞校の表彰式・発表会を兵庫県公館で開催しています。

令和3年度の1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」は、17回目の開催となりますが、新型コロナウイルス感染症対策に苦慮されている全国の学校・団体の状況を考慮した「特別企画」として実施します。

子どもたち・学生が取り組んできた防災教育や防災活動は、新型コロナウイルス感染症対策にも共通するものがあるのではないのでしょうか。この困難な状況を乗り越えて、防災教育や防災活動が新たな道を切り開いて進むように、との願いを込めて、1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」を実施します。



〔対象部門〕

①小学生②中学生③高校生④大学生⑤特別支援学校・団体

〔対象活動〕

①自然災害から命と暮らしを守るための防災教育や防災活動の取り組み(被災地支援活動も含む。)

②健康と生活を守るための新型コロナウイルス感染症に関する取り組み

応募は学校、クラス、サークル活動、ボランティア活動、地域などの単位で。※他薦歓迎

〔対象期間〕

令和2(2020)年11月14日～令和4(2022)年3月31日(活動予定も含む。)

〔応募締切〕

令和3(2021)年9月30日(木)

〔応募方法〕

右記のQRコードから、Webの申込みフォームにお進みいただきご応募ください。自薦他薦を問いません。

(なお、後日、事務局からご連絡する場合があります。)



〔問い合わせ先〕

〒662-0041

西宮市末広町4-7 夙川レッツオレジデンツァ402

ぼうさい甲子園事務局(特非)さくらネット

TEL 0798-23-3215

Eメール bousai_koushien@yahoo.co.jp



Hem21 NEWS
vol.88

令和3年7月発行

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(人と防災未来センター)

<https://www.hemri21.jp/>

当機構は、以下の組織で構成しています。

●管理部

TEL 078-262-5580

FAX 078-262-5587

●人と防災未来センター

TEL 078-262-5050

FAX 078-262-5055

●こころのケアセンター

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2

TEL 078-200-3010

FAX 078-200-3017

●研究戦略センター

▶研究調査部

TEL 078-262-5570

FAX 078-262-5593

▶学術交流部

TEL 078-262-5713

FAX 078-262-5122

ニュースレターに関するご意見・
ご感想を機構までお寄せください